鳥羽商船高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	工業英語

科目基礎情報

科目番号	0086	科目区分	専門 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	電子機械工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	Science Matters! 暮らしを変える最新科学（金星堂）		
担当教員	増山 裕之		

到達目標

1. 工学の専門分野に関する英語文献を翻訳できる.
2. 英語マニュアルなど工業製品に関する英文の意味を説明できる.
3. 専門用語を英語で表現できる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	提出物をきちんと仕上げて期限内に提出することができる.	提出物を期限内に提出することができる.	提出物が期限内に提出できない.
評価項目2	工業英語の語彙力が技術英検1級程度.	工業英語の語彙力が技術英検2級程度.	工業英語の語彙力が技術英検2級程度以下.
評価項目3	工業の専門英語について関心を持ち，高い翻訳能力を持つ.	工業の専門英語について関心を持ち，ある程度の翻訳能力を持つ.	工業の専門英語について関心がなく，翻訳能力が低い.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	工業の幅広い分野にわたって，英語による表現を学び，英語の文献やマニュアルを読みこなせるようにする. Readingが中心であるが，Writing, Hearing, Speaking の能力も伸ばす.
授業の進め方・方法	学生は事前学習や事後学習をしっかり行う. そのため，課題をできるだけ多くする. 学生による発表の機会をできるだけ多く設ける.
注意点	課題や授業に対応するため，十分な予習と復習が必要となる.

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス 技術英文講読	授業の内容と学習方法について理解する.
		2週	Solar Impulse Part 1 技術英文講読	Solar Impulse Part 1 を和訳し理解できる.
		3週	Solar Impulse Part 2 技術英文講読	Solar Impulse Part 2 を和訳し理解できる.
		4週	Biometric Data Part 1 技術英文講読	Biometric Data Part 1 を和訳し理解できる.
		5週	Biometric Data Part 2 技術英文講読	Biometric Data Part 2 を和訳し理解できる.
		6週	Geothermal Energy Part 1 復習	Geothermal Energy Part 1 を和訳し理解できる.
		7週	中間試験	
		8週	試験返却・解答 技術英文講読	中間試験を復習し，理解する
	2ndQ	9週	Geothermal Energy Part 2 技術英文講読	Geothermal Energy Part 2 を和訳し理解できる.
		10週	Maglev Train Part 1 技術英文講読	Maglev Train Part 1 を和訳し理解できる.
		11週	Maglev Train Part 2 技術英文講読	Maglev Train Part 2 を和訳し理解できる.
		12週	Earthquake and Detection Systems Part 1 技術英文講読	Earthquake and Detection Systems Part 1 を和訳し理解できる.
		13週	Earthquake and Detection Systems Part 2 技術英文講読	Earthquake and Detection Systems Part 2 を和訳し理解できる.
		14週	総合復習	既学習範囲について理解し，適切な訳ができる.
		15週	期末試験	
		16週	試験返却・解答	期末試験を復習し，理解する.

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	20	0	0	0	10	0	30
専門的能力	50	0	0	0	20	0	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0